

令和6年度社会福祉法人渡島福社会事業報告書

基本理念

「福祉は人なり」

人と人とのふれあいの中で

- 1 一人ひとりの人権を尊重し、笑顔あふれる快適な生活ができるよう支援します。
- 2 人にやさしい豊かな心で、地域の人々から必要とされる法人を目指します。
- 3 社会福祉の信頼ある担い手として、永続的に活力のある経営に努めます。

基本方針

「福祉の里」づくり

- 1 ご利用者さま、地域に対する基本姿勢
 1. ご利用者さまの人権を尊重し、「優しい心」で接し自分らしさを実現するための支援をいたします。
 2. より良いサービス提供を目指し、福祉職員としての日々専門性を追求し質の高い援助を行います。
 3. ご利用者さまとの対等な関係のもと、必要なサービスを適切に提供するとともに、意見や苦情は真摯に受止め、改善・向上に努めます。
 4. 心身ともに健康で生きがいを持って生活していただけるように、清潔で快適な住環境の整備とプライバシーの保護に努めます。
 5. 地域から愛される施設づくりを目指し、公益性をもって地域社会に貢献します。
 6. 私達は法令を遵守して、積極的に情報公開に努め、社会に信頼される法人であり続けます。
- 2 人材育成に対する基本姿勢
 1. 「出会い・経験・気付き」を根源に成長してゆく人材の育成に努めます。
 2. 研修による専門知識の修得と、その実践により人間性を育成推進いたします。
 3. 福祉従事者として成長できるような研修計画の構築に努め、地域から必要とされる人材を育成いたします。
 4. 専門家としての自覚を持ち、創造力と向上心を持った職員を育成します。
 5. 職員処遇の向上、福利厚生の一環として取り組みを行い、働き甲斐のある職場づくりに努めます。
- 3 業務改善に関する基本姿勢
 1. 安全、安心、快適に過ごせるよう常に環境改善に努めます。
 2. 業務内容(やめる、減らす、変える)を常に検討し、効率化を図ることによりサービスの向上を目指します。
 3. 介護ロボットの検討を前向きに進め、介護負担の軽減、職員のけが等の防止を目的とした業務検討を推進します。
 4. ICTの活用によりサービスの向上、業務改善を推進します。
 5. 第三者評価受審でサービスの質の向上を目指します。
- 4 経営資産(資金)に対する基本姿勢
 1. ご利用者さまに対して
 - (1) ご利用者さまの安心・安全かつ快適な生活環境整備に努めます。
 2. 職員に対して
 - (1) 職員一人ひとりが仕事を通じ、喜びと生きがいを感じることができる安全で健康的な職場づくりを行います。

3. 社会に対して

- (1) ホームページのリニューアルにより、わかりやすく見やすい構成とし、情報の積極的な発信・開示を行い、透明で健全な事業運営を行います。今後は遠隔地にお住まいのご家族の方や面会が難しいご家族の方にもご利用者の生活の様子などをご覧いただける動画配信（パスワード設定）システムを準備出来次第、積極的に活用して行きます。
- (2) 鹿部町に根ざして48年間の歴史がある渡島福祉会が今後も、鹿部町の医療・介護・福祉における連携拠点としての役割、また災害に対しても地域と連携し、噴火・地震・津波等災害時の避難場所等としての役割・機能を果たして行きます。

令和6年度事業の執行に当たっては、社会福祉法人としての役割と当法人の基本理念「福祉は人なり」のもと、中期基本方針を念頭に、事業計画に基づき、施設利用者処遇の充実のもとより職員の資質向上と施設特性を生かした地域への貢献を次とおり実施した。障害者支援施設(更生部・療護部)は障害者総合支援法、高齢者関連事業所(特別養護部)は介護保険法に基づき、個別支援計画の策定や利用者との契約等を適正に推進した。また、特別養護部においては社会貢献の一環として、利用者負担軽減事業及び短期入所事業を実施し、レスパイト目的等で地域住民の方に活用された。居宅介護支援事業所(鹿部ケアプランセンター)においては、居宅サービス計画書(ケアプラン)に位置づけたサービスを提供する事業所等と連絡・調整を行い、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう支援を行った。また従来行われていた居宅介護支援(要介護の方)の他、年度当初より新たに指定を受けて介護予防支援(要支援の方)も対象として事業展開しており、更に地域で生活されている方への相談・支援体制の拡充を図った。

1 施設利用者に対する処遇の充実強化

介護・医療・リハビリテーション等において、適切にサービスを提供するとともに、諸行事については感染症の感染状況を判断しながら可能な範囲内で実施し、毎日が明るく、楽しく、充実した生活が送られる様に支援をした。また、特別養護部において、科学的介護推進のためICT機器の導入により、ケアの質の向上に取り組むとともに、感染症防止対策のため、簡易陰圧装置設置を適時活用し万全を期した。さらに、「虐待防止・権利擁護委員会」「事故対策委員会」「リスクマネジメント委員会」「安全委員会」「感染症対策委員会」「苦情処理委員会」「個人情報保護委員会」「給食運営委員会」「施設利用者居宅復帰検討委員会」等の積極的活動により、人格尊重と人権擁護の更なる強化を図った。

2 健全財政の確立と財産の保全

職員の徹底した経費節減と施設利用希望者の適切な対応に努めた結果、適正かつ安定した施設運営を行うことができた。また、施設建物等の早期補修及び年次計画に基づき、各種機器類の導入または更新を行い、その保全と維持管理については細心の注意を払い、複合施設としての特性を生かし効率的な予算執行を実施した。

3 施設職員の資質向上と健康保持

「福祉は人なり」の理念のもと、慈愛・礼接を重んじる職員の育成に努め、特に社会福祉施設職員として、常に相手の身になった、キメ細かな介助・介護・医療の必要性を再認識させるため、法人の理念、基本方針や倫理綱領、職員行動基準及び利用者処遇実施要領等が記載されている「施設運営の手引」並びに、当法人作成の「介助・介護のためのハンドブック」を職員研修及び自己研修に利用させるとともに、感染症感染拡大防止の観点から、リモートによる職場内研修等を中心に実施した。介護福祉士など各種資格取得についてはこれまでどおり奨励し、職員の資質向上に努めた。また、職員の健康と利用者の健全で快適な生活は関連するものと考え、年2回の健康診断並びに特定保健指導の実施により、健康管理事業の充実と、人間ドックの積極的受診を推進し、利用者処遇向上に充分反映されるように配慮をした。

4 施設の整備と施設周辺環境整備

温泉を利用した設備を兼ね備え恵まれた環境の中で、利用者が日々快適で生きがいのある生活が出来る様、ふれあい広場や付帯施設等の整備を図るとともに、施設周辺の美化に努め、充実した潤いのある生活が送られる場にふさわしい環境整備を図った。

詳細については、以下のとおりである。

記

1 会議

(1) 理事会の開催

年 月 日	回数	出席者数	議 案
令和6年 5月27日	第1回	人 6	令和5年度社会福祉法人渡島福社会事業報告(職務執行状況)についてほか議案4件
令和6年 8月20日	第2回	5	社会福祉法人渡島福社会指定障害者支援施設運営規程の一部改正(案)についてほか報告2件
令和6年 12月11日	第3回	6	社会福祉法人渡島福社会役員の辞任についてほか議案1件、報告4件
令和7年 3月19日	第4回	4	令和6年度社会福祉法人渡島福社会各事業所拠点区分会計収支補正予算(案)についてほか議案3件・報告4件

(2) 評議員会の開催

年 月 日	回数	出席者数	議 案
令和6年 6月18日	定時	人 6	令和5年度社会福祉法人渡島福社会事業報告についてほか議案2件

2 行事の開催と実施

- (1) 令和2年2月より当法人では新型コロナウイルス感染予防対策として、利用者家族の面会規制、関係機関との来所規制等を行っていたが、令和6年6月より家族との面会は面会室利用等、規制を一部緩和した。
- (2) 令和6年度より新型コロナウイルス感染症がある程度、落ち着いてきたこともあり、屋外の行事について「買物散歩」「福祉の里さくら祭り」「稻荷神社祭の出迎え及びアトラクションの実施」「青空ふれあい縁日」については屋外において計画通り実施した。

3 研修の実施

職員の資質向上を図るため、自主研修をはじめ各種研修会等に参加した。

(1) 自主研修(所内) (22回)

実施年月	研 修 名	講 師 等	出席者数
令和6年4月	令和6年度渡島福社会経営方針及び事業計画 予算等研修会	理事長 部長3名	人 79
令和6年4月	令和6年度新規採用者内部研修	内部7名	2
令和6年4月	新型コロナウイルス感染症に係る研修	内部1名	15
令和6年4月	嘔吐物等による感染症予防対策研修	内部3名	36
令和6年4月	新型コロナウイルス感染症に係る研修	内部1名	21
令和6年4月	虐待防止・身体拘束廃止① (オンライン動画研修)	講師1名	70
令和6年11月	北海道高齢者虐待防止推進研修会(施設編) 報告会	内部2名	32
令和6年5月	介護予防及び要介護度進行予防 (オンライン動画研修)	講師1名	69
令和6年6月	業務継続に向けた取り組み (オンライン動画研修)	講師1名	69
令和6年7月	虐待防止・身体拘束廃止② (オンライン動画研修)	講師1名	69
令和6年8月	現場で気をつけたいプライバシー保護 (オンライン動画研修)	講師1名	69
令和6年9月	倫理及び法令遵守(オンライン動画研修)	講師1名	67
令和6年10月	虐待防止・身体拘束③(オンライン動画研修)	講師1名	68
令和6年11月	ストレスマネジメントの方法 (オンライン動画研修)	講師1名	69

実施年月	研 修 名	講 師 等	出席者数
令和6年12月	緊急時の対応(オンライン動画研修)	講師1名	人 66
令和7年1月	虐待防止・身体拘束廃止④ (オンライン動画研修)	講師1名	65
令和7年1月	虐待防止研修	内部2名	30
令和7年2月	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修報告会	内部1名	7
令和7年2月	介護事業者のための業務継続計画(BCP)策定後の研修及び訓練に関するセミナー報告会	内部1名	10
令和7年2月	口腔ケアの重要性(オンライン動画研修)	講師1名	64
令和7年3月	チームワークの協力と協調の重要性 (オンライン動画研修)	講師1名	64
毎月(12回)	口腔ケア指導・研修会	外部1名	26

(2)道内研修

(26回)

実施年月	研 修 名	主 催	開催地	出席者数
令和6年5月	甲種防火管理者更新研修	南渡島消防	北斗市	人 1
令和6年5月	道南地区老人福祉施設協議会役員会・臨時総会	道南老施協	函館市	1
令和6年5月	福祉施設における管理会計の活用と財務戦略	吉岡マネジメント	オンライン	1
令和6年6月	鹿部町生活支援体制整備事業協議体会議	鹿部町	鹿部町	1
令和6年6月	令和6年度北海道介護支援専門員更新研修(実務未経験者)	NPO	オンライン	1
令和6年7月	令和6年度第1回総会及び報酬改定に関する情報交換会	道社協	札幌市	1
令和6年7月	令和6年度北海道介護支援専門員専門研修Ⅱ	NPO	オンライン	1
令和6年7月	令和6年度社会福祉法人経営実践研修	道社協	札幌市	1
令和6年7月	令和6年度渡島保健所管内特定給食施設等従事者研修会	渡島保健所	函館市	1
令和6年8月	経理担当者のための実務研修	道社協	オンライン	1
令和6年8月	令和6年度北海道高齢者虐待防止推進研修会(管理者編)	道社協	オンライン	1

実施年月	研 修 名	主 催	開催地	出席者数
令和6年8月	令和6年度北海道高齢者虐待防止推進研修会(施設編)	道社協	オンライン	人 3
令和6年9月	令和6年度介護職員等たん吸引等研修	道社協	オンライン	1
令和6年10月	令和6年度北海道介護支援専門員更新研修(実務未経験者)	NPO	オンライン	1
令和6年10月	令和6年度北海道介護支援専門員更新研修(実務経験者)	NPO	オンライン	1
令和6年10月	令和6年度地域雇用活用化推進事業人材確保セミナー	鹿部町	鹿部町	1
令和6年10月	令和6年度介護職員等たん吸引等講義	道社協	札幌市	1
令和6年10月	令和6年度介護職員等たん吸引等演習及び試験	道社協	札幌市	1
令和6年11月	第58回日本作業療法学会	日本作業療法士協会	札幌市	1
令和6年11月	脳外傷リハビリテーション講習会	函館脳外傷リハ	函館市	1
令和6年11月	道南地区老人福祉施設職員研究大会	道南老施協	オンライン	1
令和6年11月	令和6年度社会福祉法人・施設災害時連携会議及び双方向性の向上に向けた情報交換会	道社協	函館市	1
令和7年2月	令和6年度社会福祉法人経営実務セミナー	全社協	札幌市	1
令和7年2月	介護事業者のための業務継続計画(BCP)策定後の研修及び訓練に関するセミナー	厚生労働省老健局	オンライン	3
令和7年2月	令和6年度北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	北海道	オンライン	2
令和7年2月	道南地区老人福祉施設協議会総会	道南老施協	函館市	1

4 生活環境の整備及び安全安心のための機器点検整備

利用者処遇の充実を図るため、施設建屋と付帯施設の補修管理・施設内外の環境改善・処遇機器等の購入整備を図るとともに、防災機器、避難器具等の点検整備に万全を期した。

(1) 施設整備の主なもの

実施年月	工 事 名 ・ 物 品 購 入 名	金 額
令和6年6月	源泉ポンプ入替工事	円 968,000
令和6年7月	貯湯槽室漏水改修及び換気設備工事	3,135,000

実施年月	工事名・物品購入名	金額
令和6年9月	身障浄化槽内鉄柵手摺改修工事	円 1,251,800
令和6年9月	温泉スケール抑制剤注入事業	1,144,000
令和7年2月	自家用発電機バッテリー更新工事	1,078,000
令和7年3月	照明設備LED改修工事	413,820
合 計		7,990,620

(2) 管理上の主なもの

- ・ 電気設備の保安管理を実施
- ・ エレベーターの保守点検を毎月実施
- ・ 浄化槽の保守点検及び水質検査を毎月実施
- ・ 防火設備（警報装置・非常用通報器等）の保守点検を年2回実施
- ・ 渡島リハビリ自衛消防隊員の防火教育と昼間・夜間における消火避難訓練を利用者と共に実施
- ・ 建物維持管理のため点検と消防設備の自主点検を毎月1回実施
- ・ 飲料用貯水槽の清掃、消毒、水質検査を実施
- ・ ボイラーの定期点検、修理、検査を実施
- ・ 大気汚染測定検査を年2回実施
- ・ 自動ドア保守点検を年2回実施

5 職員の充足と処遇の改善

職員の充足については、年度内退職者10名に対し新規採用者を2名充足したほか、常に定数以上の職員構成を確保するよう鋭意努力してきた。

(1) 職員の充足状況（表1）

(2) 処遇改善事項

- ・ 職員一斉の健康診断を2回実施
- ・ 職員の精密健康診断（日帰り人間ドック）を実施
- ・ 直接処遇職員の腰痛診断を実施
- ・ 50才以上の職員に対して月例検診を実施
- ・ 心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）を実施
- ・ 全国健康保険協会の保健事業である特定保健指導（健康サポート）を実施
- ・ 職員研修事業の充実を図った
- ・ 福利厚生事業の充実を図った
- ・ 介護職員等の処遇改善のため、特別手当を支給した

6 施設の安全検査

事業計画に基づき適正運営に努めてきたが、その概要は別紙付帯設備管理上の主な契約内訳表（表18）のとおりであり、その遂行に当たっては、次のとおり各行政機関の現地検査を受けたものである。

(1) 現地検査内容

実施時期	実施内容	行政庁	人員
令和6年7月18日 令和6年7月24日	ボイラー設備性能検査	日本ボイラー協会 北海道検査事務所	2人
令和6年8月26日 令和7年2月28日	煤煙測定検査	エアウォーター ラボアンドフーズ	4
令和6年8月27日	消防査察	鹿部消防署	3
令和6年9月27日	受水槽及び高架水槽検査	エアウォーター ラボアンドフーズ	4
令和6年10月18日	簡易水道水質検査	エアウォーター ラボアンドフーズ	1

7 地域社会との連携強化

令和2年2月より当法人では新型コロナウイルス感染予防対策として、利用者家族の面会規制、関係機関との来所規制等を実施していたが、6年度については利用者家族との面会規制一部緩和。小学校との交流一部規制しながらの再開。他の地域との交流行事、中学校との交流行事、ボランティア等の受入れについては中止した。

8 その他

(1) 寄附金 5件 330,000円